

伝統に生きる

—あらかわの工芸技術—



いぬ はり こ

犬張子

た なか さく のり
田 中 作 典

(平成19年度作品)
16ミリ映画・ビデオ
カラー・20分

プロフィール

住所、荒川区西日暮里4丁目25番11号
昭和12年（1937）東京都文京区生れ

田中さんの祖父・中村伸太郎氏は、代々家業として受け継いだ桐塑（桐とうの木の粉）の生地を使った様々な種類の人形を製作しており、父・留吉氏の代に犬張子を専門とするようになった。

田中さんは幼少の頃より父・留吉氏の仕事を手伝い、昭和29年から本格的に修業を始めた。昭和33年に父が逝去すると、田中さんを中心に母と兄嫁の3人で犬張子製作を続けた。現在は妻・洋子さんの協力のもと犬張子を作成している。

犬張子とは、安産祈願や子どもの健やかな成長を祈るという縁起物である。安産祈願、出産祝い、お宮参り、節供などの際に購入する人が多い。

企画・著作 荒川区教育委員会 制作 株式会社 毎日映画社

【用具・工具・材料】

「用具・工具」

キリダシ、ヘラ、中華鍋、オタマ、筆、刷毛、竹串、天竺綿、サンドペーパー、電気ドリル、電気コンロ、台、マキワラ、硯、ボール、ボンド

「材料」

胡粉、膠、和紙、ローダミン(染料)、エナメル、ラッカー、墨、岩絵の具、ベニガラ、布、紐



【工程 -犬張子-】

(1) 原型づくり

タネ(=桐塑の生地)に胡粉を塗り、和紙を貼って柿渋を塗って作る。

(2) 原型を使用して、人形生地師が生地を作る。

(3) 下地づくり

- ①頭、胴、尻尾、足の生地へのちを削って形を整える。
- ②生地へのちなどを、膠でといた胡粉(=コクソ)で直す。
- ③頭、胴、尻尾、足を胡粉で接着させる。

(4) 胡粉塗り・胡粉に膠を入れ練ったものを塗り重ねる。

- ①地塗り
- ②中塗り
- ③水拭き
- ④上塗り

(5) 面相描き・布地貼り

- ①朱のラッカーで頭に、ぼかしをいれる。
- ②青色の岩絵の具と胡粉を混ぜ目、鼻を描く。
- ③赤のエナメルで耳と口を塗る。
- ④ベニガラとローダミンをまぜ膠でとかし、墨を加えて眉、髭を描く。
- ⑤黒のエナメルで、目玉をいれ、顔、足、尻尾を塗る。
- ⑥布地貼り・・・布地を鉄で裁断し、水につけた餅に小麦粉を加えた糊で貼る。
- ⑦ヘリマワシ・・・紅白の紐(八ッ打)を、糊を塗布した板に並べる。糊がある程度乾燥したら板からはずし、布地のヘリにつける。

(6) 首紐つけ

(7) でんでん太鼓をのせる。

(8) 完成



「ビデオテープ」 荒川区内の図書館で貸し出しています。貸し出し期間は、1回15日間です(図書資料扱いのため)。また、荒川ふるさと文化館1階郷土学習室で視聴できます。

「16ミリ映画」 荒川区立南千住図書館で貸し出しています。貸出期間は、1回5日間です。ただし、団体登録が必要です。なお、映写機も貸し出しています。

問い合わせ先

■内容等に関すること

荒川区立荒川ふるさと文化館・・・3807-9234

●荒川区ホームページ

<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/>

■ビデオテープ、16ミリ映画貸出しに関すること

南千住図書館・・・3807-9221 町屋図書館・・・3892-9821

荒川図書館・・・3891-4349 日暮里図書館・・・3803-1645

尾久図書館・・・3800-5821

●荒川区立図書館ホームページ

<http://www.library.city.arakawa.tokyo.jp/>